

## 第1回寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

1 日時 令和2年9月23日(水) 午前10時から午後12時

2 場所 議会棟4階 第I・II会議室

3 参加者

出席委員 (12名)

杉本委員長、安達副委員長、屋敷委員、龍田委員、枡井委員、若林委員  
新井委員、北口委員、玉井委員、大村委員、山本委員、村上委員

欠席委員 (3名)

長嶺委員、永幡委員、楠本委員

事務局 (5名)

倉崎課長、南畑係長、三河副係長、井上、高岡

4 次第

1 新委員自己紹介及び委員紹介

2 令和元年度運営委員会の経過及び国・大阪府からの情報提供等

3 放課後子供教室の現状報告及び意見交換

4 今後の審議予定について

5 会議内容

事務局：・各放課後子供教室の経過及び国・大阪府からの情報提供。

・寝屋川市放課後子供教室安全管理マニュアル(案)を令和3年2月迄に大阪府に提出する必要があるため、今後、ご意見を頂きたい。

各委員：・新型コロナウイルス感染症の影響で学校生活に大きく変化があり、学校・家庭と地域で今まで以上に連携を深めていく必要があるのではないか。

・新型コロナウイルス感染症でプログラムの実施は校庭開放と学習のみになっている。安全管理員については地域住民の協力を得ているが、コロナ禍で学校に入校するのも難しい中、今は、今後何ができるのか、考える時間と受けとめている。

・新型コロナウイルス感染症対策として、いくつかの学校では異年齢で活動することを避けているので、放課後子供教室プログラムを実施するのは難しくなっている。

・留守家庭児童会では、異年齢集団で生活をしているが、コロナ禍以前とは違う生活の中で、工夫しながら生活している。

・保護者の新型コロナウイルス感染症に対する対応や受けとめ方は様々になってきている。自立・自己判断をしていきながら多様性を認

めていく必要があるのではないか？

以上